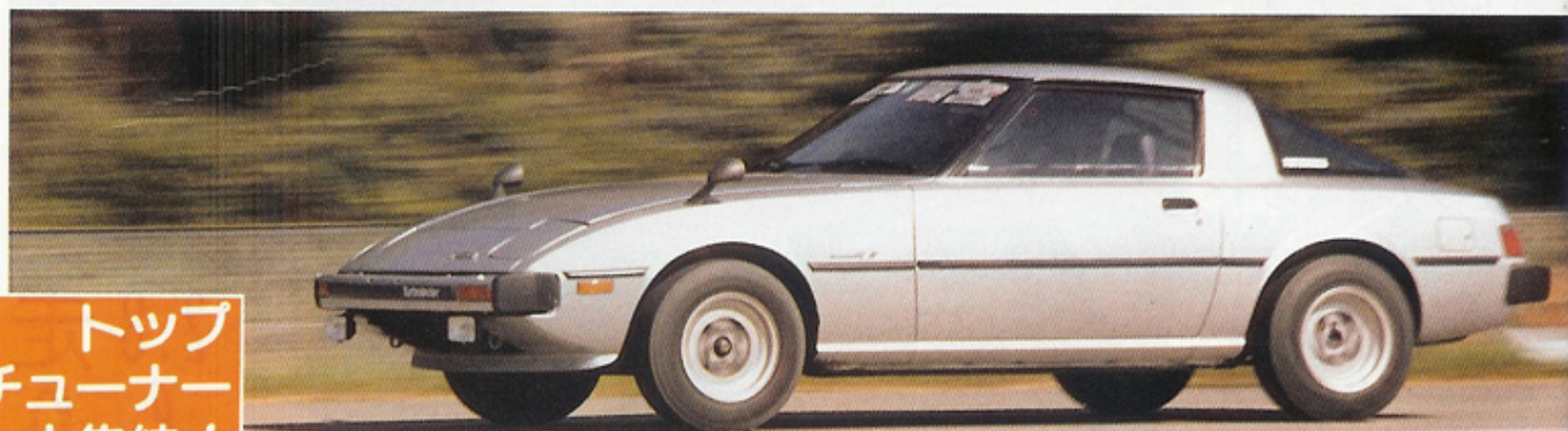


サバンナRX7 ターボ



トップ チューナー 大集結！

例によつてスタート加速を改善するために、後輪にスリックのレーシングタイヤを履かしたのは正解であつたが、オリジナルと較べて、外径が小さくギアレシオの点で問題が生じた。

半クラッチを全く使わないで、タイヤをクラッチ代りにして0〜400mテストの発進を試みたのだが、後輪の径が小さいため、いくらか行かない内にレブリミットの7000rpmになつてしまふ。2速もレブリミットの8000rpmまで早期に達してしまうので、明らかに1秒近くロスしていると思われる。

第1回目14・66秒、2回目が14・23秒とタイム的には悪くないのであるが、ギア比が適当ならば13秒台に入られたのではないかと思ひ残念であつた。

最高速は、218・18km/h、せめて220km/hは越えたいところだ。最高速テストの際は前後のタイヤは、ダンロップのSPフォーミュラR185/70HR13に変更していたが、空力特性の良いはずのRX-7は210km/hを越えるあたりから、やや不安定になり、ヨーイングを感じた。

同じRX-7でも245km/hをマークした雨宮氏の方は、エアダムスカート、リアスポイラーの効果で直進安定性がこのオリジナルのRX-7より数段高いのが確認されている。(Y)